

- 団体名: 特定非営利活動法人 マグノリアの灯
- 所在地: 〒969-0401 福島県岩瀬郡鏡石町境445番地
- TEL/FAX: 0248-94-7353
- E-mail: info@magnolias-licht.org
- URL: <https://magnolias-licht.org/>

以下は12月1日(金)いわき会場でのプレゼン資料です



NPO法人 マグノリアの灯

発表者: 橋本京子

●設立のきっかけ

- 東日本大震災、福島第一原発の放射能事故は、私たちの生き方そのものに問いを投げかけ、その結果原子力に頼らない生活を模索する様々な取り組みが生まれました。私たちのNPO法人マグノリアの灯（2013年9月認可）もそうした流れの必然性から生まれてきています。思いを同じにするグループと歩調を合わせると同時に、私たちオリジナルの活動をご紹介しますことで、互いに交流し、健やかな未来のために役立ちたいと考えています。

●団体の目的



- この法人は、東日本大震災、原発事故による放射能汚染に対して、環境の改善、人々の健康増進に関する事業を、地球規模の視座、長期的な展望を持って継続的に行い、人類の進歩、発展に寄与することを目的としています。
- 中でも子どもの健全育成を図る活動として、ホリスティックなコミュニティを創造していくことを特徴としています。

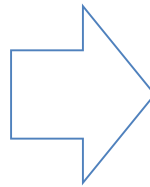
ホリスティックとは、「全体的」の意味で、老若男女や地域・自然との絆を大切にする考え方のことです。

私たちの思い、考え



▶地域の課題

- 原発事故による放射性物質による大地の汚染
- 福島の野菜は食べない
- 放射能汚染による健康被害に対する不安
- 放射能汚染問題以前からある地域課題
- 耕作放棄地
- 農業の後継者不足



▶地域の課題

福島で農業を

「福島の野菜は食べない」という人たちがいまだに多い中、福島の地で、安全かつ美味しい野菜づくりをしていくことは、大きな意味があります。確かな農業技術に、優れた放射能対策で、震災以前よりも良い状況をつくることを私たちは目指しています。

活動紹介



- 中世の医学では、惑星が「人間の臓器」と対応し、「人の営み」にも影響を与えていることが体系づけられていました。私たちのこれまでの活動について、惑星ごとに分類してみました。

1) 月 うつす

『うつす(映す・写す・移す)』働きがあります。私たちは先人たちの智慧をお借りして「うつす」ことから始めました。

2) 水星 伝える

- 「伝える」働きは双方向です。
- 互いに伝え合うことで生命は健やかに躍動します。
- 伝え合うことを大切にしながら、講座や勉強会などを行っています。

3) 金星 捧げる

- 2人の女性理事が、マグノリアの灯に、そして福島に身も心も「捧げて」います。
- 箏の演奏を焔に奉納

活動紹介



4) 太陽 与える

- ・ 私たちの理念「認識と愛の行為で福島を生きる」は、愛を「与え」続ける太陽のようにありたいという気持ちから発しています。

5) 火星 挑む

- ・ いのちのもつ本質の探究に「挑み」、理想とする未来のコミュニティづくりに「挑んで」います。

6) 木星 耕す

- ・ バイオダイナミック農法の研究とともに、市民農園開設に向けて畑を「耕し」、準備中です。

7) 土星 保つ

- ・ 「山・海・川、自然が長年にわたって「保って」きてくれたものの意味を読み取り、それに沿って人がすべき役割に取り組んでいます。

活動紹介



月 『うつす(映す・写す・移す)』働きがあります。私たちは先人たちの智恵をお借りして「うつす」ことから始めました。

★プレパアート撒布

私たちは、大震災後、須賀川市の保育園で農業講座の勉強会を開始し、あわせて福島県内12か所でプレパアート撒布を行いました。



★講座・医療相談

私たちは、福島県内各地で、講座や勉強会、医療相談を行い、現在も続けています。



活動紹介



水星 「伝える」働きは双方向です。互いに伝え合うことで生命は健やかに躍動します。伝え合うことを大切にしながら、講座や勉強会などを行っています。

★児童養護施設 森の風学園

- 玉川村は、福島第一原発から西へ60km、標高は480mに位置しています。放射線量は当初より低く、プレパラート撒布でさらに半減しました。2014年秋、施設は無事オープン。虐待などで親と一緒に住めない子どもたち(2歳～18歳)が18人(2017年3月現在)、ここで共同生活をしています。静かな自然に囲まれた環境の中、オイリュトミーや水彩、音楽などの芸術的学びが支えになり、子供たちは目覚ましい成長を遂げています。



★医師と司祭の協働

- キリスト者共同体シュトックマン司祭(チューリッヒ～フランス・コルマール)が2014年より3年連続でこの玉川村を訪れてくださり、講演会を開催しています。会場は木蓮庵。医師(山本忍)と司祭が、それぞれの立場から、福島で子育てする親たちに語りかける講演会です。2014年のテーマは「苦難とキリスト者の生き方～ヨーロッパからの眼差し」、2015年は、「宿ったいのち宿る前のいのち」



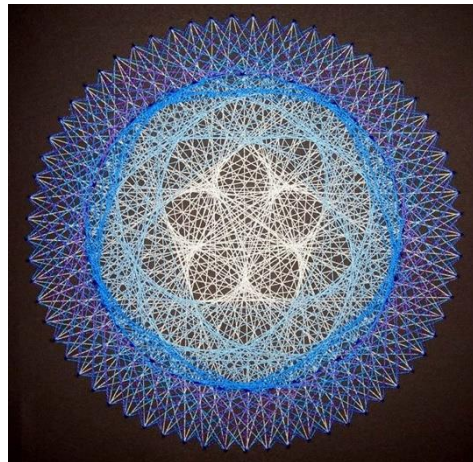
活動紹介



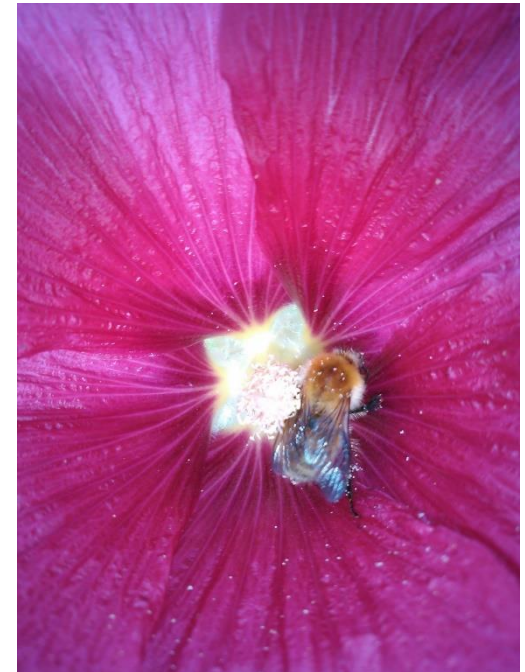
金星 捧げる マグノリアの灯には2人の女性理事がいます。2人ともマグノリアの灯の活動を通して、愛する福島のために身も心も捧げています。



お箏を奉納



水星軌道の糸かけ



タチアオイとミツバチ

活動紹介



太陽 私たちの身体(ミクロコスモス)の中の太陽は、心臓です。あらゆる生命に熱と光を与え続ける太陽のように私たちもありたいと願い、心をこめて活動しています。

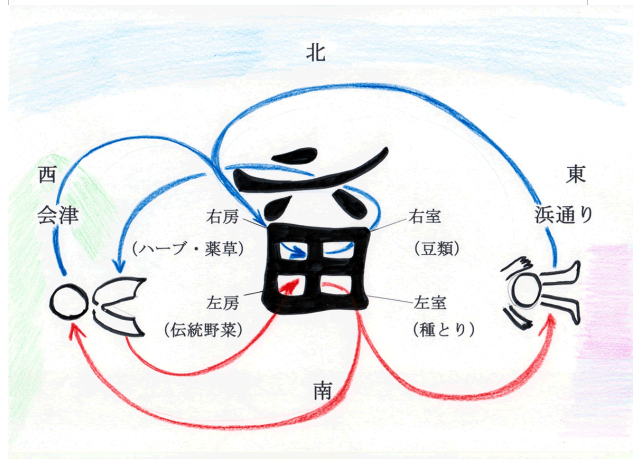


★太陽の本質・心臓の秘密

私(山本)は、シュタイナーの著書「自由の哲学」は太陽の本質を描いたものであることに気づき、その中の1文から、心臓の4つの部屋の役割を図のように読み取りました。それを、医学的見地のみならず、農業の見地からも検証を続けています。

★畑の中の太陽(心臓)

マグノリア農園設計図の元になる考え方です。畑という文字を「火:自我」と「田:心臓の4つの部屋」で構成されていると解釈。東(浜通り)からくる静脈血を右心房、右心室が受け止め、西(会津)で酸素を得て、左心房・左心室から動脈血となって循環します。畑の文字が鏡文字になっているのは、マグノリア農園が鏡石町にあるからです。



活動紹介



火星 いのちのもつ本質の探究に「挑み」、理想とする未来のコミュニティづくりに「挑んで」います。

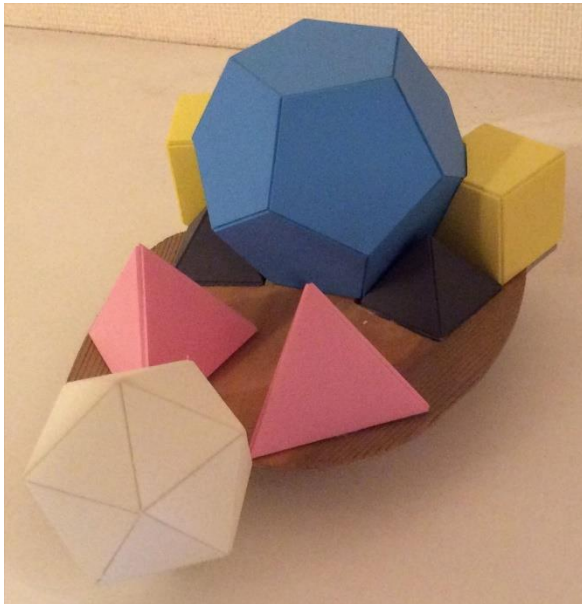


大地が揺れても天井からつるしてあれば宙に浮くからです。1300年以上もの長い間、地震に耐えて現存する法隆寺。五重塔の心柱も天井から吊るされ宙に浮いています。宮大工たちが後世に残してきた叡智です

まず地上の人間の意図を正確に読み取り、日本の風土気候にあう素材を厳選し、依頼人に最適なものを提供。特に接着剤は化学物質を一切含まないよう徹底します。



その上で、土台、骨組みをつくりあげます。良質な木材を得るために森林の育成も日本各地で手がけています。

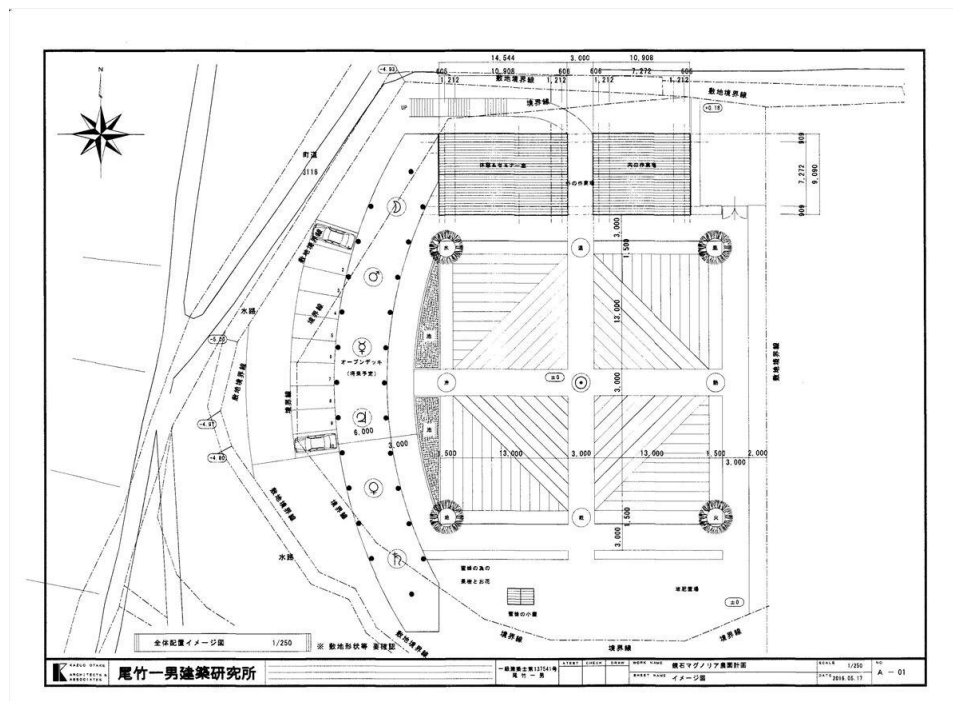


★海のお手伝いをする家（マグノリアヌム）

私たちは、この「マグノリアヌム」を2020年（東京オリンピック開催）までに建設する計画をしています。この家は、畑（心臓の役割）と対の機能（海の働き）をもち、子供たちの健康に役立つ施設になると確信しています。

木星 叡智の星、木星は自らの専門分野を「耕し」深める時に働いています。
そして、異なる分野の専門家と出会い、協働する時、一段と輝きを増す
のです。

右心房 (観察) ハーブ・薬草	右心室 (知覚) 豆類
左心房 (直観) 伝統野菜	左心室 (思考) 種とり



- 心臓のもつ特性から、畑の4区画にそれぞれ植えるべき野菜を医師(山本)が示すと、農夫(橋本)は40年の経験と直観から、畑の作付けを一足先に上記の表のとおりに始めていました。建築家と医師がたどった道とは違う道を通して、三人の専門家は同じ頂で出会った瞬間でした。

バイオダイナミック農園開設へ

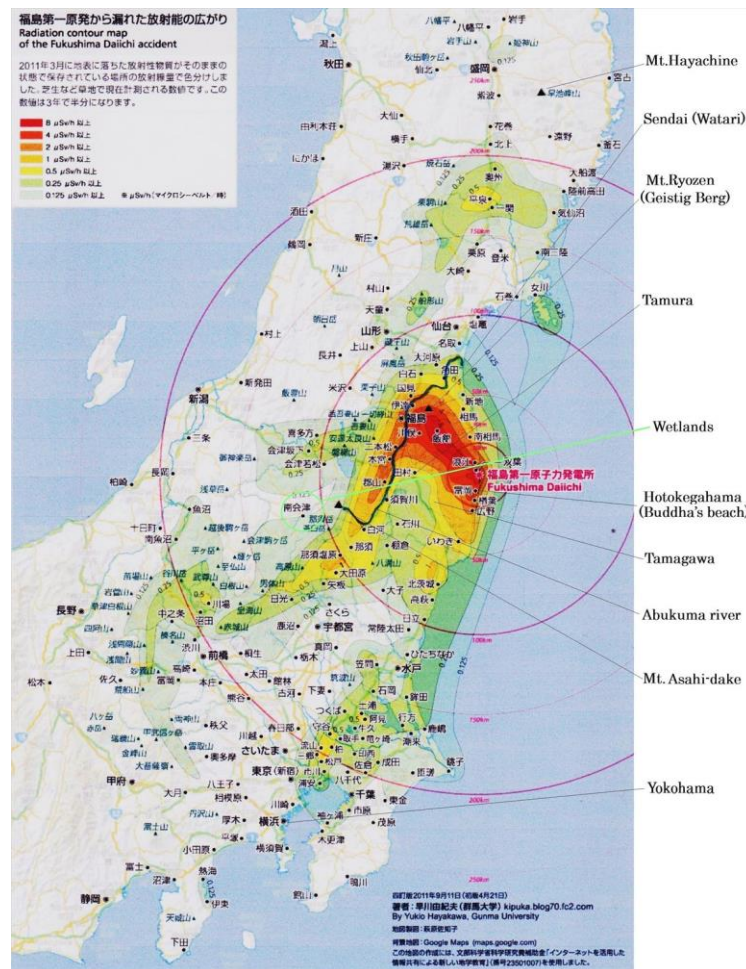
震災がご縁で出会ったバイオダイナミック農法。有機農法で培ってきた技術の意味に気づき、抱いていた疑問まで氷解していくのを感じました。福島でバイオダイナミック農園を開設することは少年の日の夢の実現でもありました。



土星 自然は何千年も前から、2011年3月11日のために、海
山川を配置してくれていました。人間がすべきことは、そ
の意図を読み取り、完成させることなのです。



放射能汚染マップを見ると、濃い赤
(放射能汚染が最も強い地域)の先
にこの山があります。まるでこの山
が放射性ブルームを引き寄せ、東京
を守ったように思えます。標高
825m。玄武岩で構成される修験道
の山。





黒褐色ないし黄褐色を呈する水晶。天然放射能を吸い込みケイ酸が遊離したためと考えられています。福島のパグマタイト鉱脈から多く産出します。

地上に露出した巨大な花崗岩の鉱脈。延喜式神社群と並行するように福島県南北に連なっています。写真は、鹿島神社(郡山市)の巨大な花崗岩。天然記念物。



ダイナミゼーションとプレパレート撒布



- 極く少量のプレパレート(調剤)をバケツで1時間攪拌。こうしてプレパレートの本質が引き出され、撒布できる。

ドイツ、ヒッツアッカー在、写真左から2番目)シュタイナー学校の元教師。ドイツ、ゴアレーベン原発の放射能対策に取り組み、煙水晶プレパレートを2011年3月10日に完成。福島に定期的に提供してくれています。

2017/11/24





ソーラムオイル
 ←WALA社がつくる泥炭素材
 のオイル(医薬品)で、リウマ
 チや癌などの疼痛緩和に用
 いられ、光のオイルとも言わ
 れています。

ムア・ラヴェンダー・オイル→
 WALA社が日本に寄付してくだ
 された泥炭を素材にしたオイル
 (化粧品)で、ラヴェンダーの優
 しい香りが心も体も包み込んで
 くれます。



泥炭は、福島県内にもあり、保護されている。

田代山(標高1926m南会津)山頂に広がる高層湿原。



カヤツリグサ科ワタスゲ属の多年草。
花期(5-6月)が終わると、白い綿毛を付けます。中間～高層湿原に分布しています。

地域、住民、ボランティア、 参加者の反応や変化



◆翌日、庭の地面から上に向かって光って見えました。



↑南相馬市

郡山市細沼教会→

◆放射能から守るということで、3歳の子どもにぬってあげました。それからお風呂の後に、「これぬって」と言ってきます。



協働に向けて



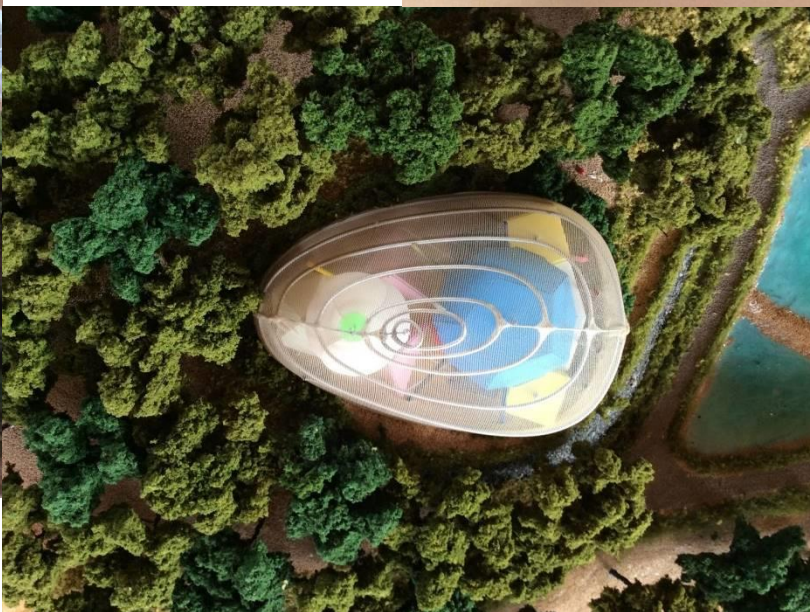
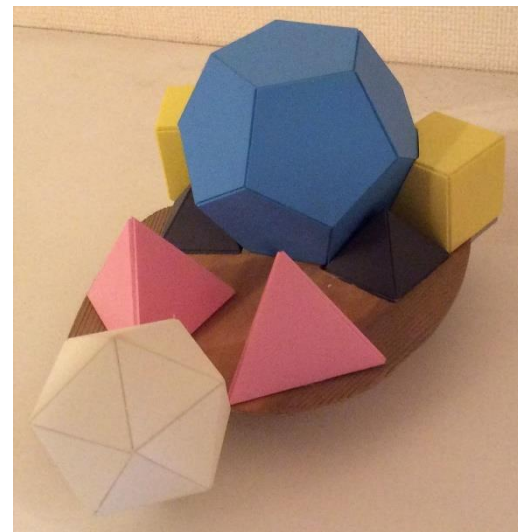
活動・組織での悩み
困っていること

- 未来型コミュニティの創造にかかわる資金調達
- マグノリアヌム建設の資金調達

企業と協働したいこと
サポートしてほしいこと

- 未来型コミュニティの創造
- マグノリアヌム建設

未来型コミュニティ模型



企業に向けてメッセージ

- 原発事故後、目先の利益重視の意識が変わりました。ネイティブ・アメリカンの言葉に「土地は先祖からの授かりものではなく、子ども達からの預かりもの」「なにを為すのであれ、今から7世代後の子供たちの影響を考慮して行わなくてはならない」
- マグノリアヌム建設実現を一緒にしませんか？